

メッセージを書いたピンクシャツの形の紙を壁に掲げる生徒
＝志布志市の志布志中学校



いじめ撲滅訴え

全生徒400人がメッセージピンクシャツ運動

志布志市の志布志中学校は2月25日、いじめ反対運動「ピンクシャツデー」の一環で、いじめ撲滅を訴え

志布志中

るメッセージを校内に掲示した。ピンクシャツの形をした紙に全生徒約400人が書き込んだ。

運動はカナダが発祥。ピンクシャツやピンクの物を身につけることでいじめ反対の意思を示す。生徒会が市内全中学校の取り組みにしたいとメッセージ掲示を考案した。

ピンクシャツの形に切り抜いた紙に「一人で悩まず、だれかに話そう」「人にされていやだと思ふことは、自分もしてはいけない」など一人一人が書き込んだ。生徒会長の2年田原遼太郎さんは「人は平等なのに、いじめは『される人』『する人』で差別も生む。世界中どこでもあつてはいけない」と話した。

(永野雄一)